

第10回 天塩川下流減災対策協議会・流域治水協議会

- 大規模氾濫による被害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進することや、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる流域治水を計画的に推進するため、「天塩川下流減災対策協議会」と「天塩川下流流域治水協議会」を合同開催しました。
- 今回で第10回目となる協議会では、令和6年度に実施した各機関の取組の実施状況を共有し、引き続き関係機関が連携して取組を推進していくことを確認すると共に、国が進める施策や支援事業などについて情報共有しました。

- 日時: 令和7年2月17日(月) 13:30~15:00
- 場所: 天塩町社会福祉会館 (WEB併用)
- 参加機関: 3町14機関
 天塩町、豊富町、幌延町、留萌開発建設部、留萌振興局、宗谷総合振興局、旭川地方気象台、稚内地方気象台、留萌北部森林管理署、宗谷森林管理署、北留萌消防組合、稚内地区消防事務組合、陸上自衛隊(留萌駐屯地、名寄駐屯地)、北海道警察(旭川方面本部、天塩警察署)、北海道旅客鉄道株式会社
- 主な議事
 1. 協議会の経緯・目的
 - ・両協議会の設置経緯と目的について説明した。
 2. 取組の実施状況
 - ・各機関から、今年度の取組内容を報告した。
 3. 意見交換
 - ・各機関の取組状況や今後の取組方針などについて意見交換した。
 4. 今後の予定、進め方
 - ・次年度の協議会に関わる実施スケジュールを確認した。
 5. 情報提供
 - ・国が進める施策や支援事業などについて情報共有した。



WEBを活用した協議会の様子



開会挨拶の様子
(留萌開発建設部長)

主な意見(1/2)



留萌開発建設部長

- 近年の異常気象で、激甚化・頻発化していると言われていたが、天塩川下流においては、昭和56年の大洪水から43年が経過し、流域にお住まいの方々も、その当時の災害の記憶がだんだん薄くなってきていると思っている。留萌管内では、昨年7月に記録的な短時間降雨を観測し、留萌市や羽幌町で土砂災害等の被害が発生したところでもあるため、本協議会において、皆様と改めて取組の趣旨などを再確認していきたい。



宗谷総合振興局長

- 災害の発生を未然に防ぎ、あるいは減災に確実に取り組んでいくためには、防災関係の皆様に限らず、あらゆる関係者の皆様の協働により、水防体制の強化や住民の皆様への防災教育、これの継続的な実施、さらには洪水による災害を防ぐための河川整備など、流域全体での減災や治水対策を積極的に進めていくということが大変重要だと考えている。
- 流域治水の取組を計画的に推進していくため、関係者の皆様と治水対策や水防に関する対応など、連携を図っていきたい。



天塩町長

- 住民の防災意識の向上、非常時の行動訓練、災害備蓄品の充実、ハザードマップの更新、洪水浸水区域の対策など、継続して進めていき、地域防災力の強化を図っていきたい。
- 住民の安心した暮らしが守られるよう、天塩川下流域に生活する者同士が、これからも協力していくことはもちろん、北海道開発局や北海道、気象台、自衛隊など、関係する全ての方々と連携をさらに強化していきたい。


 留萌振興局
副局長(代理)

- 河川の工事や樹木の伐採、浚渫、河川の維持管理を引き続き行っていきたい。
- 避難のための水位情報や河川のカメラ情報をインターネットを通じて情報発信しているため、各関係機関や住民のみならずにはこれらの情報を参考にいただき、今後の防災に取り組んでいきたいと思っている。



豊富町長

- 引き続き減災対策、流域治水の取組を推進し、実災害を想定した災害対策本部や指揮上の訓練、防災訓練を積み重ねるとともに、過去の水害や能登半島地震の教訓を参考に備えていかなければいけないと強く感じている。
- 流域内の全ての関係者が今まで以上に強力で連携し、ハード・ソフト一体で多層的に進めることや、情報共有を行うことが必要であると考えている。



旭川地方気象台長

- 災害発生時の対応を円滑に行うためには、平時からこのような関係機関の連携が何より重要だと考えている。
- 気象台では、開発局、振興局と共催で防災連携TVを毎週木曜日に悪天の予想がない場合でも定期で開催している。また、警報級の現象などが予想される場合には、臨時開催を行い、予想されている現象の解説や、想定される災害などを説明し、気象台の持っている危機感や、現象の相場観を共有している。



幌延町長

- 風水害のみならずの災害全般に対する町民意識を高めていくことが、これからの課題だと感じている。
- 今年度作成した自治体タイムラインを活用し、適切な早期避難等に関する情報共有を行いながら、防災・減災につなげていきたい。
- 防災訓練等を重ねていき、天塩川下流域の各関係機関と協力・情報共有をして、減災・防災に努めていきたい。



稚内地方気象台長

- 気象庁と国土交通省水管理・国土保全局は、外部有識者を交えて、「防災気象情報に関する検討会」を開催し、シンプルで分かりやすい防災気象情報を再構築することなどの議論を進めた。
- 警戒レベル1~5に相当する防災気象情報の名前を変更することも含めて、令和8年の出水期の導入を目指して新しい体系へのバージョンアップを計画している。

主な意見(2/2)



留萌北部森林管理署長

- 我が国の森林は、戦後植栽した人工林が50年以上と成熟期を迎えており、森林吸収源対策の観点から、それらを切って使って、また植えて育てるといった取組を進めているところである。
- これから春にかけて立ち入る際には、特に山火事に気をつけなければいけない。アメリカでは大規模な山火事が発生した例もあるため、地域住民などにも山火事に対する普及啓発を引き続きやっていかなければならないと思っている。


 陸上自衛隊
(留萌駐屯地)
第26普通科連隊
副連隊長(代理)

 陸上自衛隊
(名寄駐屯地)
第3即応機動連隊
火力調整幹部(代理)

- 第二師団司令部旭川の統制を受け、引き続き連携して災害派遣に対応していきたい。
- 各自治体等が実施する防災訓練や防災セミナーに積極的に参加し、関係機関との連携強化を図っていきたい。



宗谷森林管理署長

- 森林には、水源涵養機能をはじめとする、70以上の公益的機能があり、流域治水に関しては、土砂の崩壊防止や流出防備、保水機能などに寄与している。
- 森林は、一度なくなってしまうと再生に30年以上の長い時間がかかるため、健全な状態を常に保つように、引き続きしっかりと森林整備に取り組んでいきたい。

 北海道警察
旭川方面本部
警備課 課長補佐(代理)

 北海道警察
旭川方面天塩警察署
警備係 警備係長(代理)

- 部隊だけではなく、各警察署員それぞれが対応できるように訓練を重ねていきたい。
- 今後とも気象情報など、把握した事象等について、災害担当の皆様と情報共有を図っていきたい。


 北留萌消防組合
消防長

 稚内地区消防事務組合
消防長

- 水防団員を兼ねる消防団員の減少が続いている状況にあるため、引き続き消防隊員の確保に努め、各機関、各部隊と連携・協力して対応していきたい。
- 今後も各種訓練、会議の参加を通して、情報収集、連携強化を図っていきたい。


 北海道旅客鉄道株式会社
旭川支社長

- 宗谷線の大部分は天塩川流域を運行しているため、今後も皆様と協力して、減災・流域治水の取組を進めていきたい。
- 全ての構造物にハード対策を施すのは、予算などに限界があるため、ソフト対策を同時に活用している。
- 具体的には、鉄道設備の点検、徐行運転、運転中止という3段階の手続きを経た運行管理や極度に強い降雨予報や荒天予報が出た際に、雨が降り始める前の段階で、列車運行を見合わせる対応を行っている。